

今、一人ひとりができること～節電

電力不足に陥らないために、今夏は使用電力の15パーセント削減が求められています。

計画停電を回避するためにも、家庭や職場でできることを実践し、節電に努めましょう。

- 電気製品・・・主電源を切るか、プラグを抜く。
- 照明・・・こまめに消す。可能であれば、白熱電球を電球形蛍光灯や電球形LEDに取り替える。
- テレビ・・・省エネモードに。見ないときは消す。
- エアコン・・・設定温度は室温28度に。フィルターなどは定期的に掃除する。扇風機を利用したり、また室外からの熱をカットするために、カーテンやすだれを利用するのも良い。
- パソコン・・・電源は使うときだけONにする。
- トイレ（暖房便座式）・・・コンセントからプラグを抜く。便座保温・温水のオフ機能、タイマー機能があれば活用する。
- 洗濯・・・まとめ洗いで回数を減らす。
- 冷蔵庫・・・設定温度は「中」にし、詰め込みすぎないようにする。

★町では、7月1日(金)～9月30日(金)の間、照明および空調の管理、パソコンなどの機器管理、クールビズ（服装の軽装化）、閉庁後の一斉消灯、ランチシフトといった節電対策に取り組めます。

※ランチシフトとは、昼休みをずらす（13時～14時とする）ことにより、電力使用の分散を図るものです。昼休み中も業務は行います。



町職員が宮城県石巻市に被災地支援に訪れた際に避難所で出会った学生（左）と復興を願う街の様子（右）

今、箱根にできること～箱根温泉AIDプロジェクト

東日本大震災からの復興に向けて、被災地はもとより日本が元気になるために、箱根の魅力を総動員して「今、箱根にできること」を実行するプロジェクト「箱根温泉AID（エイド）」を立ち上げました。町内の観光関連団体や交通事業者で実行委員会を組織し、プロジェクトの推進を図っています。

AIDとは「援助」や「手伝い」という意味です。この言葉を軸とし、箱根温泉AIDでは、被災地の支援と箱根への誘客を大きな柱として、箱根の元気を伝えていきたいと考えています。

プロジェクトの内容については、専用ホームページ（<http://www.hakone-aid.com/>）で紹介していきますので、ご理解、ご協力をお願いします。



被災地に笑顔があふれる日が来ることを願って・・・

6月18日にレイクアリーナ箱根で行われた、「箱根町子ども会レクリエーション大会」の中で、東日本大震災で被災した児童たちへの支援を目的に、この大会に参加した児童が自ら募金箱を持ち、会場に来ている保護者に募金の協力を呼びかけました。

昼休みに各地域代表の児童が集まって、「募金のご協力をお願いします。」と観覧席を回り、多くの保護者から募金してもらうことができました。

集まった募金（総額26,979円）は、(社)全国子ども会連合会を通じて被災地へ送られ、児童たちのために役立てられることになっています。



これからの取り組み
打ち水キャンペーン
 7月16日(土)～8月31日(水)の間、「打ち水で町を清め、涼しい箱根をより涼しくし、お客様をお迎えしよう」と考え、町全体で打ち水キャンペーンに取り組みます。
 打ち水は、涼しい時間帯に（9時と17時を一つの目安として）取り組むと効果的です。
 打ち水には、できるだけ二次利用の水（例：お風呂の残り湯、雨水、エアコンの室外機から出る水など）を利用してください。
 節電にもつながる打ち水に、ぜひ、協力してください。
照会先 箱根温泉AID実行委員会事務局（観光課）
 ☎ 85-7410

箱根元気クーポン
 東日本大震災の影響により低迷する町内経済に刺激を与え、落ち込んでいる町内消費を好転させるため、総額1,000万円分の「箱根元気クーポン」を発行します。これは、インターネット（町ホームページ「総合トップページ」<http://www.town.hakone.kanagawa.jp>参照）や雑誌などの懸賞として、応募者の中から抽選でプレゼントし、当選者が7月16日(土)～10月31日(月)の期間限定で割引券として使えるクーポン券です。

◎クーポン券の取扱事業所募集
対象 町内に事業所や店舗を持つ事業者の方で、クーポン券を額面記載相当額（1,000円）の割引券として取り扱い可能な事業者
登録方法 指定の申込書に必要事項を記入し、提出してください。
 ※登録事業所には、認定シールを発行しますので、店頭に掲示してください。
換金方法 申込書に記載された指定口座に、後日振り込みます。（月2回）
登録・照会先 企画課 ☎ 85-9560